

家庭科学習指導案

題材名「思いを形にして生活を豊かに」

令和5年10月 第6学年 指導者 金子 由季

I 題材の構想

1 題材観

本題材は、身の回りの生活を便利にしたり、楽しい雰囲気を作り出したりするなど、自分や家族の生活を豊かにするための布を用いた製作として、入れたい物に合わせたバッグ製作を行う。

バッグ製作は、できあがりの寸法に縫いしろ分を加えたり、余裕をもって出し入れしたりするゆとりの分量を考えたりする必要がある。そのため、縫いしろやゆとりの必要性やその見積もり方を理解し、それらに係る技能を身に付けるために適している。また、生活の中で身近に使用するバッグを目的や使い方に応じて自分で選んだ布を使い、適切な大きさに作ることができるという手作りのよさを感じながら製作することもできる。製作するバッグについては、自分や家族の生活から使用する場面やそのバッグを使う人、バッグに入れる物を想起し、思いに合った布を準備したり、大きさや形、ポケットの付け方を考えたりしながら製作をする。「こんな物を入れたい」「家族のためのバッグを作りたい」という思いをもって製作をすることで、「ちょうどよい大きさにするにはどうしたらよいか」「丈夫にするにはどうしたらよいか」と、よりよいバッグの完成に向けて、課題を解決しながら学習に取り組むことができる。また、完成後には実際に家庭や学校で使ったり、家族が使う様子を見たりすることで、自分が製作したことの喜びを味わうとともに、仕上がり具合を確かめることもできる。日常生活に使える布製品を自分で製作できたという達成感は、「次はどんな物が作れるだろうか」「誰かのために作りたい」と、今後の実践意欲を向上させることができる。以上のことから、本題材においてバッグ製作を行うことは大変意義深いと考える。

2 研究との関わり

児童の「学びたい」「生活に生かしたい」「家族のために実践したい」という主体性を高めるためには、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決方法を考え、実践を評価・改善して、解決策を導き出していく過程を重視した問題解決的な学習の充実を図る必要がある。その中でも「問題を見いだして課題を設定する」学習過程において、自分の生活を想起したり、見本となる製作物などを観察したりすることを通して「できるようになりたい」「知りたい」などの児童の思いを引き出すことが、児童が必要感をもって学習し、家庭の実践につなげるためには大切である。

本題材では、見本となるバッグを基に、どのような物を入れ、どのような場面で使うバッグを作りたいかを考えることで、「作りたい」「使いたい」という製作意欲を高められるようにする。また、見本となるバッグを観察することで、ミシンの使い方が分かる、ポケットを付けることができるなど既習事項から「できること」、持ち手の付け方や袋状にする方法などの「できないこと」を整理し、「できるようになりたいこと」を明確にし、具体的な学習後の姿を基に題材の課題へと結び付けていく。児童が気付いたこと、疑問に思ったことから、題材の課題を設定することで、主体的な学習に結び付けることができると考える。また、題材の課題を設定する際には、「なぜできるようになりたいのか」「誰のためにできるようになりたいか」などを問い掛けることで、学習の目的を明確にする。題材の課題を設定した後には、自分の生活を想像しながら個々に「できるようになりたいこと」を具体的に考え、各単位時間で「できるようになったこと」や「分かったこと」と生活を結び付けて考えるようにする。

このように「問題を見いだして課題を設定する」学習過程において、児童の思いを引き出し、家庭とのつながりを明確にすることで、「家族のためにできるようになりたい」「学習したことを自分の家族に合わせて実践したい」など、学びと自分や家族の生活をつなげ、家庭生活をよりよいものにしていくと自ら課題解決に向かう児童を育成することができると思う。

3 題材の目標及び児童の実態

| | 目 標 | 児童の実態 |
|--------------|---|---|
| 知識及び技能 | ・製作に必要な材料や手順、製作計画、ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。 | ・5年生での学習においてミシン縫いによるエプロン製作を行っている。そのため、ミシンの使い方や縫い方、製作の手順、縫いしろの必要性などについての基礎的な知識・技能は身に付いている。バッグ製作を通して、ゆとりを考えたり、丈夫さを考えて持ち手をつけたりすることを身に付ける必要がある。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 | ・これまでの学習で、題材の課題を設定し、課題を解決するために必要な学習活動を考え、学習計画を立てることができる。個人で解決方法を考えたり、よりよい方法に改善したり、自分の生活とつなげて考えたりすることが十分でない児童もいるため、友達と意見交流をすることで、解決方法に気付いたり、よりよい方法を考えたりできるようにする必要がある。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。 | ・5年生でのエプロン製作の学習では、繰り返し動画を視聴して確認したり、友達に相談して解決したりと、多くの児童が課題解決に向けて自分に必要な活動を考え、主体的に学習することができる。一方で、自分が製作したエプロンを使う中で、ひもが取れてしまったり、ポケットの位置が低かったりと、生活で使うことを十分に意識して製作できなかったと感じている児童もいる。 |

4 評価規準

| | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | ・製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解しているとともに、適切にできる。 |
| 思考・判断・表現 | ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 |

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全12時間：本時第1時）

| 過程 | 時間 | ■ねらい <input type="checkbox"/> 学習活動 ★ICT活用に関する事項 | ◆評価項目＜方法（観点）＞ | | |
|-----|---------|---|---------------|----------------------------------|---------------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| つかむ | 1 本時 | ■ 布を用いたバッグの製作について問題を見いだして課題を設定し学習計画を立てることができる。 <input type="checkbox"/> 見本の観察を基に作りたいバ | | ◆生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、問 | |

| | | | | | |
|---|-----|--|---|--|--|
| | | <p>ッグの特徴や製作についての疑問点について考え、意見交流をする。</p> | | <p>題を見いだし課題を設定している。 <観察・ワークシート(思①)></p> | |
| <p>[本時のめあて] 見本のバッグをもとに話し合い、学習課題と学習計画を立てよう。</p> | | | | | |
| <p>[題材の学習課題] 家族や自分が使いやすい、入れたい物の大きさに合った、丈夫なバッグを作るにはどうするとよいだろうか。</p> | | | | | |
| 追究する | 2 | <p>■バッグの製作計画を立てることができる。 <input type="checkbox"/>見本のバッグを参考に、形や大きさ、持ち手の付け方などを考え、製作計画を立てる。</p> | <p>◆製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 <ワークシート・型紙(知①)></p> | <p>◆生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、様々な解決方法を考え、工夫している。 <ワークシート・振り返りカード(思②)></p> | <p>◆生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 <観察・振り返りカード(態①)></p> |
| | 家庭 | <p><input type="checkbox"/>バッグ製作動画を視聴し、型紙の作り方を確認する。</p> | | | |
| | 3・4 | <p>■型紙の作り方を理解し、型紙を作り、必要な布の量が分かる。 <input type="checkbox"/>製作動画で分からなかったことを中心に型紙の作り方を確認する。 <input type="checkbox"/>友達と協力し、入れたいものの大きさに合った型紙を作成する。 ★バッグ製作動画の視聴</p> | | | |
| | 5 | <p>■ミシンの基本的な使い方や縫い方が分かる。 <input type="checkbox"/>ミシンの準備の仕方、安全な使い方について確認する。 <input type="checkbox"/>糸のかけ方、縫い方について確認し、練習布を用いて試し縫いをする。 ★ミシンの使い方動画の視聴</p> | <p>◆ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解しているとともに、適切にできる。 <観察(知②)></p> | <p>◆生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。<ワークシート・振り返りカード(思③)></p> | <p>◆生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 <観察・振り返りカード(態②)></p> |
| | 家庭 | <p><input type="checkbox"/>バッグ製作動画を視聴し、しるしの付け方、布の裁ち方を確認する。</p> | <p>◆製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 <観察・作品・テスト(知①)></p> | <p>◆生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての問題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分</p> | |
| | 6 | <p>■型紙を基に、布にしるしを付け、布を裁つことができる。 <input type="checkbox"/>製作動画で分からなかったことを中心にしるしの付け方、布の裁ち方を確認する。 <input type="checkbox"/>友達と協力しながら、しるし</p> | | | <p>◆生活を豊かにするための布を用いた物の</p> |

| | | | | | |
|--------------|--|---|--|---------------------------------|--|
| | | 付けをし、布を裁つことができる。 ★バッグ製作動画の視聴 | ◆ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解していると同時に、適切にできる。 ＜作品・テスト（知②）＞ | かりやすく表現している。 ＜観察・ワークシート（思④）＞ | 製作計画や製作について工夫し、実践しようとしている。 ＜ワークシート・振り返りカード（態③）＞ |
| 家庭 | □バッグ製作動画を視聴し、製作手順を確認する。 | | | | |
| 7 11 | ■製作手順を確認しながら、ミシンやアイロンを使い、バッグを製作することができる。 □手順に沿って製作をする。 ①中表に二つ折りにし、左右のわきを縫う。 ②出し入れ口を三つ折りにして、まち針で留め、縫う。 ③持ち手を縫い付ける。 ④表に返す。 ★バッグ製作動画の視聴 | | | | |
| 家庭 | □製作したバッグを家庭や学校で活用したり、他の物を製作したりする。 ★活用の様子の撮影 | | | | |
| まとめ | 12 | ■題材を通してできるようになったことを自覚し、これからの生活や学習に生かしていこうとする。 □自分の作品や実際に使ってみた様子について紹介し合う。 □学習課題を基に本題材のまとめをする。 ★活用した様子の視聴等による共有 | | | |

II 第1時の学習

1 ねらい

バッグの見本の観察を基に、作りたいバッグの特徴や製作の疑問点を考え、意見交流をすることを通して、布を用いたバッグの製作について問題を見いだして課題を設定し学習計画を立てることができる。

2 展開

| 主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項 | ◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点） |
|--|---|
| 1 本時のめあてをつかむ。 (導入5分) S：図書室の本を入れるバッグや兄弟が習い事に行く時に使うバッグを作りたいな。 S：バッグを作る学習の始まりだから、学習課題と学習計画を立てる学習だな。 | ◎バッグの製作について問題（作りたい、できるようになりたいという思い）を見だし題材の課題と学習計画を設定するという目的意識をもつことができるように、完成したバッグを提示する。（手立て1） |

| | |
|--|---|
| <p><めあて> 見本のバッグをもとに話し合い、学習課題と学習計画を立てよう。</p> | <p>○「入れたい物に合った大きさ」「使いたい場面に合った形」などを意識できるように、入れる物に合わせて作られたバックや使う目的が明確なバッグを提示する。</p> |
| <p>2 見本のバッグの観察を基に、作りたいバッグの特徴や製作についての疑問点を考え、意見交流をし、問題を見いだす。 (展開①7分)</p> <p>S : ポケットは付けたことがあるから、付け方も分かるね。でも、持ち手の付け方が分からないな。</p> <p>S : ショルダーバッグが作りたいけど、ひもの部分はどのように付けているのかな。裏返してみよう。</p> | <p>◎バッグの特徴や製作についての疑問点に気付けるように、複数の形のバッグを提示する(手立て1)。</p> <p>◎「できること」「できるようになりたいこと」などが明確になるように、一人一人がバッグを持って観察し、グループで話し合うよう促す(手立て1)。</p> <p>○様々な気付きや疑問を引き出せるように、バッグの中や縫い目など、細かい部分にも目を向けている児童を称賛する。</p> |
| <p>3 見いだした問題を基に、題材の課題を設定する。(展開②18分)</p> <p>㊦「できること」「分かること」を整理する</p> <p>S : エプロン作りで付けたから、ポケットの付け方は分かるな。</p> <p>S : エプロン作りでひもを付けたときと同じように、バッグの持ち手も、返し縫いをして付けているよ。</p> <p>㊧「できるようになりたいこと」「知りたいこと」などを明確にする</p> <p>S : 裏返して縫えば袋になりそうだよ。</p> <p>S : 底が立体になる縫い方や、内側に付けるポケットが難しそうで、縫う手順も分からないな。</p> <p>㊨「なぜ」「だれのために」など学習目的を明確にする</p> <p>S : 丈夫で長持ちする、使いやすいバッグを作りたいな。</p> <p>S : お母さんのためのエコバッグが作りたいな。</p> <p>㊩整理したことを基に題材の課題を設定する</p> <p>S : みんなの意見は、使う人にとって使いやすく、入れる物に合った丈夫なバッグを作りたいということだったな。</p> | <p>○「できること」や「分かること」が共有できるよう、理由を問い掛けたり、バッグを見せて発表するよう促したりする。</p> <p>◎「できるようになりたいこと」「知りたいこと」が具体的になるように、児童の気付きに対して問い返す(手立て2)。</p> <p>S : ここはよく分からないな。</p> <p>T : どの部分?</p> <p>S : 底の部分。</p> <p>◎バッグ作りを学習することが家族の役に立ったり、家族を喜ばれたりすることに気付けるように、誰のためにどんなバッグが作りたいかについて問い掛ける(手立て2)。</p> <p>◎児童の見いだした問題を共有し、題材の課題が設定できるように、児童の意見をキーワードとして整理し、板書にまとめ可視化する。</p> <p>○自分たちの学習後の姿を明確にして課題を設定できるように、完成した理想のバッグの状態を問い掛ける。</p> |
| <p><題材の課題> 家族や自分使いやすい、入れたい物の大きさに合った、丈夫なバッグを作るにはどうするとよいだろうか。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>4 題材の課題を解決するために必要な学習を考え、学習計画を立てる。 (展開③10分) (グループ→全体)</p> <p>S: まとめ、振り返りは必要だな。 バッグの作り方を知らないといけないな。 ミシンの復習もしたいな。</p> | <p>○具体的に学習内容がイメージできるように、これまでの学習の記録を参考にしよう促す。</p> <p>○グループから出された意見を生かすことができるように、グループごとの意見を書き出してから、学習する順番を問い掛ける。</p> |
| <p>5 本時の振り返りをする。 (終末5分)</p> <p>S: バッグの見本を観察して、使いやすいバッグの特徴や自分はどこができないかが分かった。これから、使いやすく、丈夫なバッグを作れるようになりたい。また、バッグの作り方を完璧に覚えて、家族のためにも作れるようにする。</p> <p>S: 次は、どのようなバッグを作るのか計画を立てる学習だな。</p> | <p>◎単位時間でも自分や家族の生活を想起できるように、本題材でできるようになりたいことを振り返りカードに記入しよう促す。</p> <p>○自分や家族の生活と結び付けた目標が立てられるように、使う場面を想起しながら具体的にできるようになりたいことを記入している児童を称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、問題を見いだして課題を設定している。</p> <p><観察・ワークシート(思①)></p> </div> |

3 板書計画

思いを形にして生活を豊かに

④ 見本のバッグをもとに話し合い、学習課題と学習計画を立てよう。

- ・図書室の本 自分
- ・習い事 妹・弟
- ・遊びに行くとき

<学習課題>

家族や自分が使いやすい、入れたい物の大きさに合った、丈夫なバッグを作るにはどうするとよいだろうか。

<できること>

- ・ミシンを使える
- ・アイロン
- ・直線縫い

<できるようになりたいこと>

- ・バッグの作り方
- ・持ち手の付け方
- ・型紙の作り方

○どんなバッグが作りたい?

- ・入れたい物に合った大きさ
- ・丈夫
- ・かっこいい
- ・使いやすい→ポケット

予想

- ・裏返して両はじを縫えばいい
- ・ひもは1本でつながっている

<学習計画>

- ①製作計画
- ②型紙を作る
- ③ミシンの使い方の復習
- ④バッグの作り方
- ⑤製作
- ⑥家庭で使う
- ⑦まとめ、振り返り